

「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。



第31期
中間期

HIRAKI COMPANY REPORT

株主通信

平成19年4月1日～平成19年9月30日

株主の皆様へ Message from the President



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第31期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の決算ならびに

事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役 野崎 誠

「長期安定的な企業価値の向上」を目指して

当社の社訓は「人の生命は限りがある。会社の生命を永遠のものにして、次の時代のための礎となろう。」であり、「長期安定的な企業価値の向上」が経営の基本方針であります。この実現に向けて「お客様が本当に欲しいと思われる商品を、気持ちよく買っていただくこと」を基本方針として靴作りを行っております。品質を守りながら、気軽に履ける価格設定で商品開発を行い、お客様に「驚き」、「楽しさ」、「満足感」をお届けできるよう社員一丸となって取り組んでおります。この取り組みによって、お客様からご支持をいただき、長期安定的な企業価値の向上を実現してまいります。

中期事業戦略

成長性に重点を置きながら、新規ビジネスに挑戦し、同時に収益力の強化を目指します。

●靴のマーケットシェアの拡大

- ・商品力強化による直販（通信販売・店舗販売）事業の拡大
- ・OEM生産の拡大による卸販売事業の拡大

●新しい取り組み

- ・価格帯、クオリティのワンランク上の商品マーケットへの参入
- ・婦人靴専門店の展開
- ・新事業への挑戦「通販事業ソリューション提供ビジネス」

（注）この株主通信は、株主の皆様により一層当社グループをご理解いただくため、当社および連結子会社を含めた連結の決算数字をもとに記載しております。

CONTENTS

株主の皆様へ 01

TOPICS 02
CSRコミュニケーション
商品のご案内

営業の概況 03

事業部門別の概況 05

連結財務諸表 07

単体財務諸表 09

株式情報 10
会社情報



TOPICS

婦人靴専門店 ^{ヒ ッ ピ ア} hyppia・第1号店を
神戸・三宮センター街にオープン【平成19年9月】

中期事業戦略を展開していくなか、自社一貫体制による商品開発を強化することで、価格帯、クオリティともワンランク上の商品の開発・生産を実現。今回、これまでの通信販売の低価格路線とは一線を画す「旬・高いクオリティ・安く」をコンセプトとした婦人靴の新ブランドhyppia（ヒッピーア）1号店を9月14日、三宮センター街（神戸）に出店いたしました。この新ブランドhyppiaを一事業と位置づけ、雑誌を中心にブランドPRを展開。第1号店の順調な売上推移をうけて、早くも第2号店を東京・原宿に出店することが決定しています。今後さらに東京・大阪への出店を進め、事業拡大を目指します。



CSRコミュニケーション

「ヒラキ靴まつり」開催【平成19年9月】

9月2日の「靴の日」、兵庫県朝来市の協賛のもと、恒例の『ヒラキ靴まつり』を開催。目玉イベントとして「靴供養」を執り行い、役目を終えた靴たちをお客様とともに感謝をもってお見送りいたしました。また、今年は「靴供養」の一環として靴への感謝の言葉や思い出を綴る『ヒラキ靴短冊大賞』を募集。当日、入選作品の発表を行いました。

※『ヒラキ短冊大賞』の大賞作品は裏表紙に紹介しております。



商品のご案内

平成19年4月～平成19年9月に発売した
おすすめのアイテムを一部で紹介します。

パンツスタイルに嬉しい
シンプルデザイン
レディース
スポーツカジュアルスニーカー
¥780（税込¥819）



親子でおそろいが楽しめる
ソフトジョッキーブーツ ¥743（税込¥780）



キッズ

さっと履けて
びたっとフィット
レディース
カジュアルシューズ
¥458（税込¥480）



ジュニア

こだわりの
モカ仕上げ
レディース
カジュアルシューズ
¥553（税込¥580）



レディース



「安さ」という当社の強みである商品力強化を徹底しながら、事業の拡大を推進します。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気は堅調に推移したものの、個人消費は、原材料高騰にともなう商品価格の値上げから消費マインドは停滞しました。また消費者ニーズの多様化やライフスタイルの変化により企業間の競争は激しさを増す中、小売業界においては、猛暑、残暑など異常気象の影響で苦戦を強いられました。このような状況の下、当社グループは「靴・履物」の専門性を高めることに重点を置き、「商品力（魅力・価格・品質）」を強化し、480円軽量ボーダーシューズや780円ジョッキーマウンテンブーツなどの強力な商品を投入した結果、売上高は125億1百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面では、急激な円安の影響で売上総利益率が低下した

ことに加えて、販売促進の強化のため広告宣伝費を増加させたことにより顧客数は増加したものの、天候不順等により販促投資に見合う売上高が確保できなかった結果、営業利益は2億5千万円（前年同期比54.7%減）、経常利益は有利子負債の減少や金利低減によって支払利子が減少し、1億9千2百万円（前年同期比55.8%減）となりました。この結果、中間純利益は5千7百万円（前年同期比77.3%減）となりました。下期においても厳しい経営環境が予想されますが、「靴」そして「安さ」という当社の強みである商品力強化の徹底を推進し、収益の確保・事業の拡大を目指してまいります。

対処すべき課題

当社は「長期安定的な企業価値の向上」を経営の最重要課題と考えており、「強いところをより強く」することを戦略の重点においております。この方針に基づき、当社の強みである「靴を中心とした自社企画商品力」、「価格の安さ」および「通信販売を中心とした多彩な販売手法」をより強化してまいります。

① 多くのお客様に気軽に履いていただける靴の開発強化

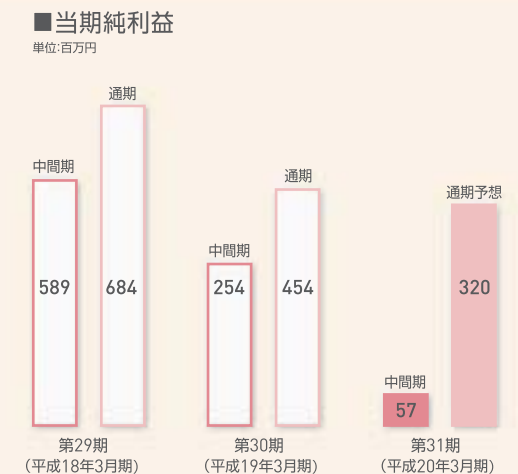
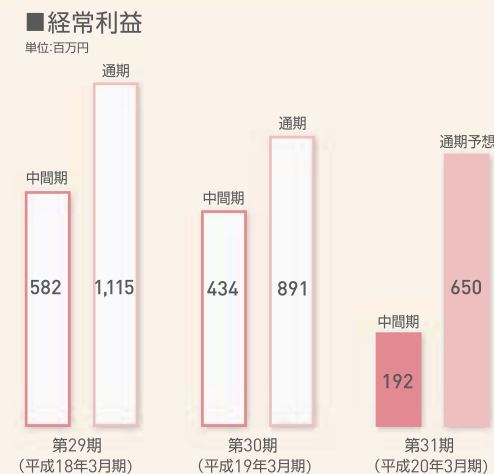
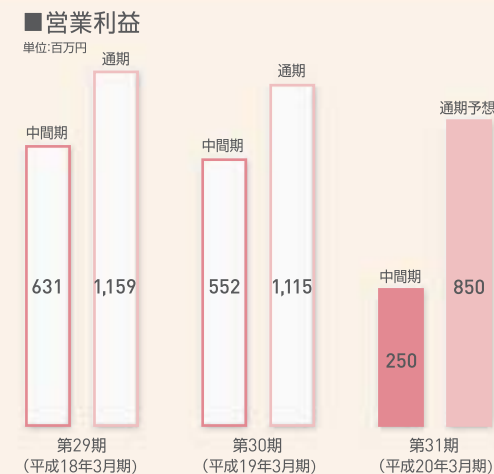
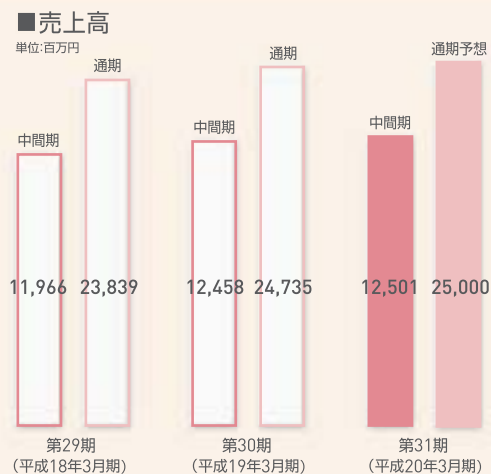
- 1) 低価格商品の強化
- 2) 顧客層の拡大
- 3) インターネットによる販売の強化
- 4) 「安さ」を支えるローコストオペレーションの強化

② 靴に関連する事業の強化

- 1) 靴事業推進部による靴の販売力強化
- 2) ワンランク上の商品の拡大
- 3) 卸販売事業の拡大
- 4) 強みの業務の事業化と事業拡大に向けた人材確保・教育

③ 靴のマーケットとの関わりの強化

靴関連事業から派生する新たなビジネスへの挑戦





事業部門別の概況 Business Result

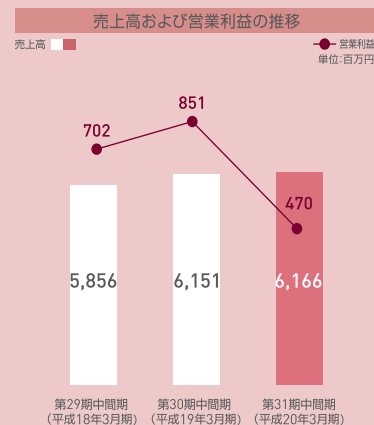
開発体制の再構築や新ブランド展開など、各事業において収益体制の強化を実践します。

通信販売事業

通信販売事業では、靴の商品力の強化に加え、カタログ・チラシやインターネットの販促媒体を強化し、顧客数は増加しました。しかし、主に第2四半期において天候不順等によって販促投資に見合う売上高が確保できませんでした。この結果、売上高は61億6千6百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は4億7千万円（前年同期比44.8%減）となりました。



カタログなど



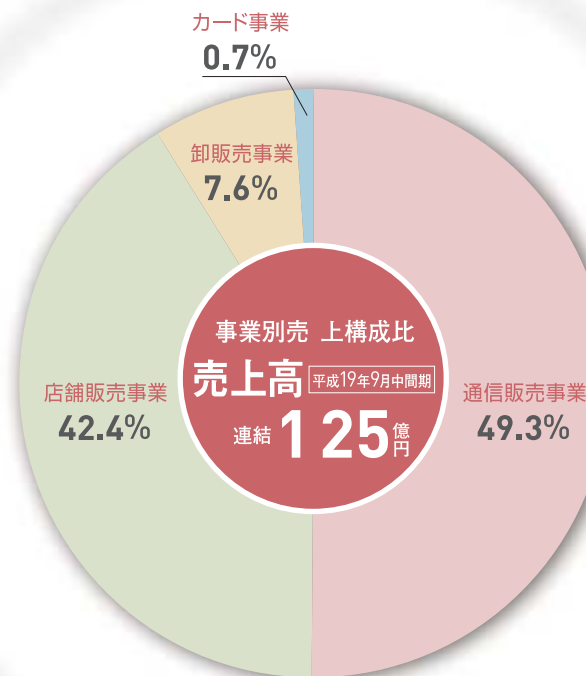
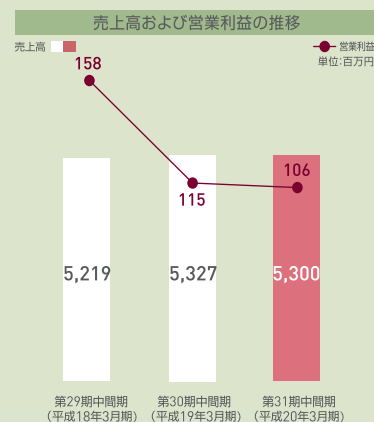
店舗販売事業

店舗販売事業では、「靴・履物」の品揃えを行ってまいりましたが、天候不順等の影響によって収益性の高い靴の販売が伸び悩みました。この結果、売上高は53億円（前年同期比0.5%減）、営業利益は1億6百万円（前年同期比7.3%減）となりました。



岩岡店 (神戸市西区)

岩岡店 靴売場



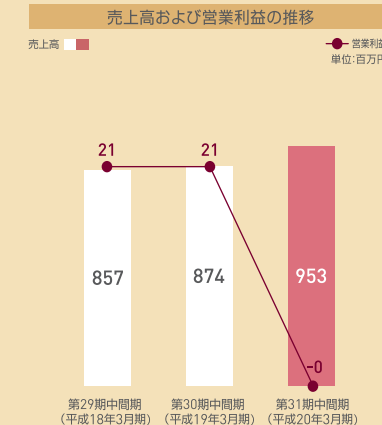
卸販売事業

卸販売事業では、商品企画力を強化し、靴専門店との取引を拡大する一方で、今後の事業拡大に向け人員を増加しました。この結果、売上高は9億5千3百万円（前年同期比9.1%増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益2千1百万円）となりました。



神戸営業所 (神戸市須磨区)

東京ショールーム (東京都新宿区)



専門店事業

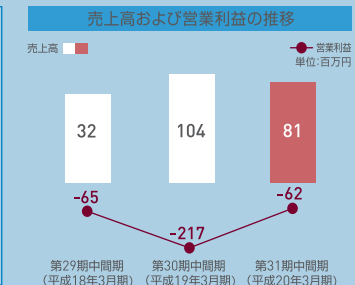
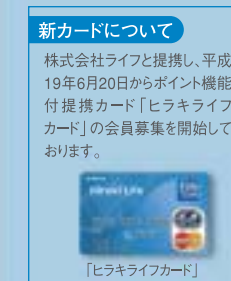
既存の店舗販売事業とは一線を画す、若い女性をメインターゲットとした都心型の婦人靴専門店「hyppia」を新事業として起ち上げ、平成19年9月14日に第1号店（神戸・三宮センター街）を出店。平成20年2月上旬には第2号店を東京・原宿へ出店することが決定しています。今後さらに東京を中心に、出店拡大を目指します。



神戸・三宮センター街店

カード事業

カード事業では、営業貸付金の譲渡を行い、平成19年6月30日付をもって事業を撤退しました。この結果、売上高は8千1百万円（前年同期比22.4%減）、営業損失は6千2百万円（前年同期は営業損失2億1千7百万円）となりました。





連結財務諸表 Consolidated Financial Statement

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	8,795	8,699	9,279
現金及び預金	1,196	1,140	1,142
受取手形及び売掛金	1,302	1,352	1,571
営業貸付金	1,112	－	1,312
たな卸資産	5,000	5,902	5,102
その他	324	340	404
貸倒引当金	△ 141	△ 35	△254
固定資産	8,608	8,641	8,398
有形固定資産	8,027	8,162	7,915
建物及び構築物	4,191	4,041	4,106
土地	3,636	3,636	3,636
その他	199	483	172
無形固定資産	305	181	190
投資その他の資産	276	298	292
その他	276	305	292
貸倒引当金	△ 0	△ 7	△0
資産合計	17,404	17,341	17,677

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	5,841	5,217	5,760
買掛金	1,211	1,379	1,254
短期借入金	500	400	200
一年以内償還予定の社債	－	200	200
一年以内返済予定の長期借入金	2,886	1,982	2,557
賞与引当金	146	146	138
その他	1,096	1,109	1,409
固定負債	8,573	7,839	7,555
社債	200	－	－
長期借入金	8,284	7,753	7,466
その他	89	85	89
負債合計	14,415	13,057	13,315
【純資産の部】			
株主資本	2,900	4,216	4,297
評価・換算差額等	88	67	64
純資産合計	2,989	4,284	4,361
負債及び純資産合計	17,404	17,341	17,677

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
売上高	12,458	12,501	24,735
売上原価	7,479	7,633	14,730
売上総利益	4,978	4,868	10,005
販売費及び一般管理費	4,426	4,617	8,889
営業利益	552	250	1,115
営業外収益	17	32	35
営業外費用	134	91	259
経常利益	434	192	891
特別利益	4	－	5
特別損失	4	80	114
税金等調整前中間(当期)純利益	434	111	782
法人税・住民税及び事業税	122	41	385
法人税等調整額	57	12	△57
中間(当期)純利益	254	57	454

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本			評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
平成19年3月31日残高	431	1,129	2,736	64	4,361
中間連結会計期間中の変動額					
ストックオプションの権利行使による株式の発行	6	6			12
剰余金の配当			△ 151		△ 151
中間純利益			57		57
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)				2	2
中間連結会計期間中の変動額合計	6	6	△ 93	2	△ 77
平成19年9月30日残高	437	1,136	2,643	67	4,284

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 64	631	174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	△ 406	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	164	△ 225	△95
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1	△0
現金及び現金同等物の増加額	7	1	△47
現金及び現金同等物の期首残高	1,187	1,139	1,187
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,194	1,140	1,139



単体財務諸表 Unconsolidated Financial Statement

貸借対照表

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	8,688	8,606	9,149
固定資産	5,215	5,321	5,041
有形固定資産	4,375	4,581	4,299
無形固定資産	305	181	190
投資その他の資産	534	558	551
資産合計	13,903	13,928	14,191

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	5,613	4,998	5,509
固定負債	5,395	4,839	4,466
負債合計	11,008	9,838	9,976
【純資産の部】			
株主資本	2,806	4,022	4,150
評価・換算差額等	88	68	64
純資産合計	2,894	4,090	4,215
負債及び純資産合計	13,903	13,928	14,191

損益計算書

(単位:百万円)

	前中間期末 平成18年9月30日現在	当中間期末 平成19年9月30日現在	前期末 平成19年3月31日現在
売上高	12,458	12,501	24,734
売上原価	7,487	7,641	14,745
売上総利益	4,970	4,859	9,988
販売費及び一般管理費	4,537	4,720	9,106
営業利益	433	139	881
営業外収益	12	32	25
営業外費用	103	61	197
経常利益	342	110	709
特別利益	4	—	5
特別損失	4	80	113
税引前中間(当期)純利益	343	29	600
法人税、住民税及び事業税	83	10	306
法人税等調整額	58	8	△54
中間(当期)純利益	201	10	348

ヒラキホームページ



ヒラキのホームページでは、タイムリーな株式情報や財務情報のほか、事業概要や社会貢献活動、最新ニュースなど、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載しております。どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



<http://company.hiraki.co.jp>



株式情報 (平成19年9月30日現在) Stock Information

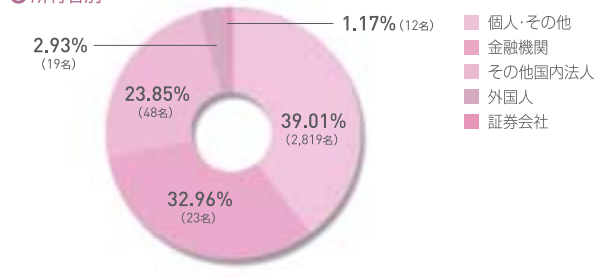
株式の状況

発行済株式の総数 5,061,600株

株主数 2,921名

株式分布状況【株式数比率(株主数)】

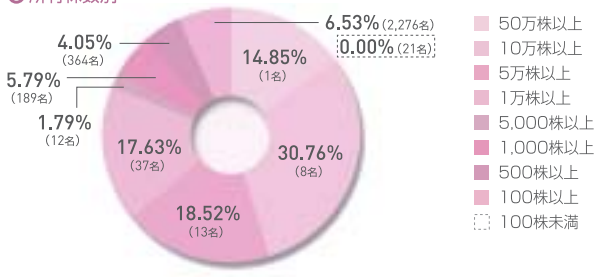
◎所有者別



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社マヤハ	752	14.85
ヒラキ従業員持株会	274	5.41
神戸信用金庫	251	4.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	248	4.91
株式会社みなと銀行	211	4.17

◎所有株数別



会社情報 Company Information

会社概要 (平成19年9月30日現在)

社名	ヒラキ株式会社 (HIRAKI CO.,LTD.)
設立	1978年4月22日
本社所在地	〒650-0027 神戸市中央区中町通 2丁目1番18号 日本生命神戸駅前ビル12階
資本金	4億3,748万円
従業員数	238名(パート・アルバイト除く)

役員 (平成19年9月30日現在)

取締役および監査役			
代表取締役	野崎 誠	最高執行責任者・ヒラキ不動産管理有限会社	代表取締役
取締役	向畑 達也	営業本部管掌・上海平木福客商業有限公司	董事長
取締役	岡崎 守隆	経営企画室長	
取締役	今本 清治	現業支援本部長兼経理部長	
常勤監査役	伊原 英二		
監査役	朝家 修	公認会計士・税理士朝家事務所	代表
監査役	松田 陽三	神戸信用金庫	常任監事
執行役員			
社長執行役員	野崎 誠	最高執行責任者	
副社長執行役員	向畑 達也	営業本部管掌	
専務執行役員	梅木 孝雄	営業本部長	
常務執行役員	岡崎 守隆	経営企画室長	
常務執行役員	今本 清治	現業支援本部長兼経理部長	
常務執行役員	錦戸 美隆	店舗販売事業部担当	
上席執行役員	松添 晃明	プロジェクト・システム室長	
執行役員	埜邨 敬和	店舗販売事業部長	



応募総数6,125作品 大賞作品が決定!

「靴供養」の一環として、靴への感謝の言葉を募集した「ヒラキ短冊大賞」。初開催にも関わらず6,125作

品と予想を超える応募をいただきました。お送りいただいた作品は、靴を題材にした心温まる作品ばかり。たくさんのそして素敵な作品のご応募、誠にありがとうございました。



大賞を含む、入賞した全61作品を
ヒラキホームページ上にて公開しております。
ぜひご覧ください。

群馬県
さらい様

「無敵のシューズ」
我が家では、新しい靴を買ったと母へ
渡す習慣がある。母は「ケガをしません
ように。」と唱えてから靴底に二回ずつ
プツプツと唾をかけるのだ。
幼い頃不思議に思ってた。尋ねてみると、
安全のおまじないだと教えてくれた。
おかげ様で、家族は皆、足のケガ知ら
ず。私も24年間足のケガはない。セール
品だって、母の手にかかればたちまち無
敵のシューズに大変身。
ちなみに、母の靴には……こっそり私
がおまじないをかけている。たくさん
の「ありがとう」を込めて。もちろん、母
もケガ知らず。
我が家には無敵のシューズがたくさん
ある。作り方はとっても簡単。必要な
材料は、「愛」、だ。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
---------	---

【お知らせ】

住所変更、単元未満株式の買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページでご請求いただけます。
フリーダイヤル
0120-87-2031(24時間受付)
ホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

公告掲載方法	電子公告 http://company.hiraki.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
--------	--

株主優待特典のお知らせ

毎年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社商品券(2,000円相当)を贈呈いたします。

※当社商品券は当社通信販売および店舗にて使用できます。 ※贈呈時期は8月中旬頃発送の予定であります。

本誌に関する
お問い合わせ先
【経営企画室】



〒650-0027 神戸市中央区中町通2丁目1番18号 日本生命神戸駅前ビル12階
TEL:078-362-1130 FAX:078-362-1198 ホームページ <http://company.hiraki.co.jp>

